

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37739	
事業名	実費徴収に係る補足給付費						
評価担当課	所属名	子)子育て支援 施設運営課					
	課長名	大木	担当者名	鳥谷部	電話番号	011-211-2986	
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	保護者の世帯所得の状況等を勘案し、実費徴収代を助成する。				
		長期	子育て家庭の経済的支援を目的とする。				
	取組内容	保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等を助成するほか、私学助成園を利用する世帯へ副食費分の実費徴収を助成する。					
	実施結果	補助人数 【教材費】648人 【副食費】754人					
事業実施における工夫点	なし						
対象者	特定教育保育施設・私学助成園に通園する生活保護世帯等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	全政令市で実施						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	24,935	26,000	24,974	27,000
うち特定財源	16,252	17,332	15,957	18,000
人工	0.4	0.4	0.4	0.4
人件費	2,880	2,880	2,880	2,880
計(事業費+人件費)	27,815	28,880	27,854	29,880
事業費の内訳	令和3年度決算	補助額 【教材費】6,031千円 【副食費】18,943千円		
	令和4年度予算	補助額 【教材費】6,000千円 【副食費】21,000千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	補助対象児童の受入人数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	1290	1297	1402	1451
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	補助対象児童の年間受入人数		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	1290	1297	1402	1451
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度は延べ1,402人の児童が補給付を受け、低所得世帯や多子世帯の経済的支援を行うことができ、子どもを生き育てやすい環境の促進を図ることができた。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	新制度移行施設・事業者は全て対象としており、事業規模とし適切である。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	私立については、各施設・事業者ごとに給付を行っており、公立については、対象者ごとに個別に給付を行っている。 私立は、対象者人数が多いため、各施設・事業者を通して給付を行う方が効率的であり、公立は対象者人数が少ないため、各施設を経由するよりも個別に給付を行った方が効率的であり、実施方法として適切である。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	補助金の交付により低所得世帯や多子世帯の経済的負担を軽減し、子どもを生き育てやすい環境を促進できており、ニーズに込えている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	なし			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	札幌市内における低所得世帯や多子世帯に対し、適当な経済的支援を実施できており、子どもを生き育てやすい環境の促進を図ることができたため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 本事業を継続していくことにより、世帯の状況に応じた円滑な教育・保育の実施をサポートすることができ、子どもを生き育てやすい環境の促進を図ることができるため。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 ● 縮小 <input type="checkbox"/> その他 私学助成園の減少に伴い、副食費免除対象者の減少が見込まれるため。		見直し効果額 0 千円